



キックオフシンポジウム 基調講演

# “人類の多様性をめぐる考古学”

2026

4/12

日

13:15 - 15:30

(開場 13:00)

参加費 無料

クリス・ゴスデン名誉 教授  
オックスフォード大学

北海道大学先住民・文化的多様性グローバル研究ユニット (GRID) のメンバーである。ブリティッシュ・アカデミー会員、大英博物館の評議員を務めるなど、国際的な研究者で、考古学理論、特に物質文化論、植民地主義の考古学等を専門としている。

## 講演要旨

20世紀半ばには、人類史を「集団」から「部族」、「首長制」、「国家」へと至る単線的な発展過程として捉える見方が広く共有されていた。これらの各段階は、それ以前の段階よりも階層的であり、政治的にもより発展していた。「文明」という用語は国家形態にのみ認められていた。また、農業の始まりや都市の成立は歴史的進歩の主要な原動力と見なされ、その結果、一部の社会が発展から取り残されたという含意が伴っていた。しかし現在、このような進歩主義的・単線的な歴史観には多くの批判が向けられている。本講演では、人間を実践的存在であると同時に、哲学的存在として捉え、そのため、世界を動かす重要な原動力は私たちが生き、政治的動物として行動する世界を理解しようとするものであることを示す。農業などの生業形態は、それ自体が歴史を方向づける要因ではなく、地域的文脈の中で、人々がどのような社会を構想してきたかという政治的・思想的試みによって意味づけられてきたものである。この観点からすれば、人類史は単一の発展段階の連続ではなく、多様な社会的実践の集積として理解されるべきものであり、それ自体として尊重されるべきものである。

## お申込

申込は下記URLまたは二次元バーコードからお願いいたします。

<https://forms.gle/gtLPptbH3k1rB2138>

## 主催・お問合せ

北海道大学 アイヌ・先住民研究センター  
先住民・文化的多様性グローバル研究ユニット (GRID)  
Email: [grid@let.hokudai.ac.jp](mailto:grid@let.hokudai.ac.jp)

## 言語

日本語・英語の同時通訳

## 会場

北海道大学 学術交流会館 2階 講堂

